

5 - ヨシ（アシ）の生態



生活史

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生息場所
花期								—————					河川の中・下流域から河口域、低地の湿地
種子	—————									—————			
植物体	- - - - -												

- - - - - 地上部の植物体の枯死期

特性

分布	<ul style="list-style-type: none"> 日本では北海道から沖縄まで分布
他の生物との関係	<ul style="list-style-type: none"> ヨシ原の水辺ではバン、ヒクイナ、ヨシゴイ、陸上ではオオヨシキリ、セッカなどの鳥類が繁殖 魚介類、トンボなどの産卵や、幼体の生息場として重要
繁殖	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖は種子と地下茎で行うが、地下茎が主体 花期は8～10月で結実して穎果（イネ科の果実）を作る 種子は長楕円形の胚乳種子で長さ1.2～1.4mm
配慮のポイント	<ul style="list-style-type: none"> オオヨシキリなど鳥類の繁殖期である5～6月の草取りは避ける
その他	<ul style="list-style-type: none"> 水中部の体表につく付着生物群集や、群落内に生息する巻き貝などの働きを通して、水質浄化に寄与 不安定帯の水際付近に生育し、水深1m位まで耐えることができる 一般に水分を多く含んだ砂泥質の窒素分の多い富栄養地に生育するが、発達した地下茎が地中1m位まで深く匍匐し、嫌気化した土壌まで侵入

5 - ガマの生態



生活史

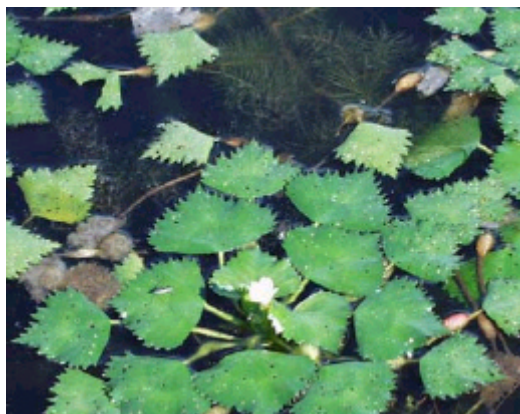
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生息場所
花期						—————							池沼や河川の水辺、 原野の水湿地、水田 耕作放棄地
種子									—————				
植物体	-----					—————							

----- 地下茎で越冬

特性

分布	<ul style="list-style-type: none"> ・国後島、北海道、本州、四国、九州に広く分布
他の生物との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ニカメイガ、オオチャバネヨトウなどの食草である ・ガマなどの大型抽水植物は、魚類などの産卵や避難場所として利用される
繁殖	<ul style="list-style-type: none"> ・種子と根茎（地下茎）で越冬し、繁殖する ・花期は6～8月で、結実して堅果を作り、9～10月頃果実が熟すと赤褐色のガマの穂となり、果穂の上方から白い冠毛をもつ種子が風によって飛散
配慮のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・水域と陸生の連続性の確保は鳥類・昆虫・両生類などの生息の観点から重要であり、抽水植物の生育する水際線を極力保全する必要がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養塩類の除去などの水質浄化に役立っている ・泥底の浅い水中から直立する

5 - ヒシの生態



生活史

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生息場所
花期							■						池沼や溜め池の水深 2m以下の水中
種子									■				
植物体				■									

特性

分布	・北海道、本州、四国、九州に広く分布
他の生物との関係	・マダラミズメイガ、ハムシ類などの食草となる ・ミズカマキリの産卵場となる
繁殖	・種子で越冬し、繁殖する ・種子は4月頃発芽し、7～10月頃開花し結実する
配慮のポイント	・ヒシの単一群集とならないよう、間引きするなどの配慮が必要
その他	・一般に、ヒシ群落の水面下にはホザキノフサモ、エビモ、クロモ、マツモなどの沈水植物が生育し、階層構造を示すが、富栄養化が進むと沈水植物群落が消失し、ヒシのみ残る

5 - ヒツジグサの生態



生活史

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生息場所
花 期						—————							池沼の水深1～2m の生育
種 子									—————				
植物体	-----				—————						-----		

----- 根茎で越冬

特 性

分 布	・北海道、本州、四国、九州に広く分布
他の生物との関係	・イネネクイハムシの食草となる
繁 殖	・種子または根茎で越冬し、繁殖する ・種子は4月頃発芽し、第1葉は針状、第2葉は矢尻状で、第3葉以降は馬蹄形 ・越冬した根茎からも4月頃発芽する
配慮のポイント	・古くからある沼やため池を保存し、水質浄化に努める
その他	・花期は6～10月で、正午頃から咲き始め、午後2時頃（未の刻）全開し、午後4時頃から閉じ始める ・昼夜における花の開閉運動は5～7日間続く

5 - クロモの生態



生活史

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
花期						—————							池沼や河川、溝、水路などの浅水中に群生
種子						—————							
植物体	—————												

特性

分 布	・北海道から沖縄にかけて分布するが、沖縄には少ない。
他の生物との関係	・魚類の産卵、生息、避難の場となるほか、淡水ガモの餌料ともなる。
繁 殖	・種子や殖芽で越冬・繁殖するほか、千切れた枝からも再生して無性生殖を行う。 ・花期は6～10月で、結実して種子をつくる。通常雌雄異株。 ・秋に小枝の先に葉が密集した越冬芽をつくり、これが水底に落ちて越冬、4月頃発芽する。
配慮のポイント	・沈水植物の生育地帯で河川改修工事を行う場合は、できるだけ群落を存続させるように配慮する ・生育水域の水質保全に配慮する。
その他	・長さ30～60cm。ときには2mにもなる。種子は短円柱形で3～6mm。

5 - バイカモの生態



生活史

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
花期					—————								河川の上流域、湧水のある水域、低地の水路（北日本のみ）
種子				—————									
植物体	—————												

特性

分布	<ul style="list-style-type: none"> ・日本特産。北海道から本州の山地の小川や湖沼で生育。九州でも見られる。水底が砂質で冷水の清流中に多く群生。
他の生物との関係	
繁殖	<ul style="list-style-type: none"> ・種子と根茎（地下茎）で越冬。種子は秋に発芽し、翌年開花。
配慮のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな冷水の流れる砂質底の場所に生育するので、湧水の維持や、水質・底質の汚濁防止に配慮することが必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮緑色の繊細な沈水性草本で、梅に似た白い花をつける。茎の長さは0.5～1.5mとなり、3～4回分枝する。長さ3～10cmの中空の花柄を水面または水上に伸ばし、上端に1花をつける。

5 - オニバスの生態



生活史

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
花期								■	■	■			平野の池沼、ため池、水路、堀などに自生
種子									■	■	■		
植物体				■	■	■	■	■	■	■	■		

特性

分布	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県および新潟県以南の本州から九州にかけて分布し、台湾、朝鮮半島、中国大陸、インドにも分布する。
他の生物との関係	
繁殖	<ul style="list-style-type: none"> 種子で越冬し繁殖するが、発芽率は低い。4～5月頃から発芽。種子の寿命は長く、数年間は発芽力を失わない。
配慮のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生育水域の水質保全に配慮する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 茎の長さは1～2m、成葉はほぼ円形で0.3～1.5mで表面は緑色で著しい皺があり、裏面は赤紫色で葉脈が網目状に隆起し、両面の脈状に刺がある。花は直径4cm位で、花弁は鮮紫色で多数並ぶ。

5 - ミクリの生態



生活史

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
花期						—————							池沼や水路、水湿地などの浅い水中に群生 泥底の浅い水中から直立
種子									—————				
植物体	—————												

特性

分 布	・北海道、本州、四国、九州に分布する他、アジア、ヨーロッパ、北アフリカの温帯に広く分布
他の生物との関係	・ネクイハムシ類の食草
繁 殖	・種子と根茎（地下茎）で越冬し、繁殖。種子は落下あるいは水により運ばれて広がる。根茎は横走して広がり、先端に新しい株を作って増える。
配慮のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ミクリの生息する環境は、主に止水部であるため、ヤンマ類などの幼虫や両生類の生息場所となっており、比較的小規模なものであっても水生生物にとって重要な空間となっているため、これらの水生生物の生育生息場所の保全にも十分配慮する必要がある。 ・大型抽水植物は魚類の産卵や隠れ場として利用されるので、生育場所を保護する必要がある。
その他	・葉は濃緑色で光沢があり、扁平で線形、長さは100～180cm、幅8～22mm程度。